



# スマート保育園・幼稚園・こども園通信

2021年度

8月号

## 特集

明日の保育につなげる  
ドキュメンテーションとは？

～無藤先生に聞きました！よくある5つの疑問 Vol.2

今月のルクミーで実践！ドキュメンテーション  
『やごのえさ探し』

刈谷ゆめの樹保育園 中嶋淳先生

コラム1 トマトがある子どもの世界  
～社会福祉法人呉竹会 三茶こだま保育園

コラム2 保育者からの贈り物

## 特集

明日の保育につなげる  
ドキュメンテーションとは？

無藤先生に聞きました！  
よくある5つの疑問  
Vol. 2



無藤 隆先生

白梅学園大学名誉教授。東京大学教育学部卒業、東京大学教育学研究科博士課程中退。東京大学新聞研究助手、聖心女子大学助教授、お茶の水女子大学教授などを経て、現職。社会的活動：元・日本質的心理学会理事長、元・日本発達心理学会理事長、日本乳幼児教育・保育者養成学会理事長、元・中央教育審議会委員、元・内閣府子ども・子育て会議会長、国立教育政策研究所上級フェローなど。

園での子どもの姿を写真付きで記録する「ドキュメンテーション」は、「保育の質の向上」につながるとして、すでに実施されていたり、研修などをうけて実施にむけて動き始めている園が多いのではないのでしょうか。

前回に引き続き今月号でも、「ドキュメンテーション」をいざ始めてみたものの、生じがちな迷いや疑問について、明日の保育に生かしていくためにどのように向き合っていけばよいか、無藤先生へお伺いしました。

### 7月号でお伺いした疑問

Q1 「ドキュメンテーション」は心が動いたところを自由に記録すればよいと言われますが、自由に書いてよいといわれるとどんなことを書けばよいかわからず迷う」という声も聞かれます。そんなときはどうすればよいのでしょうか。

Q2 「とはいえ、記録すること自体が難しい」という声も聞かれます。どのようにすれば書きやすくなりますか？

Q. ドキュメンテーションは、作るだけでなく、そのあとの対話が大事なのですね。

そうすると、対話が生まれやすいようにするには、どのようなことを書いておくとういでしょうか。

A. 「対話以前に、自分自身もなぜこの写真を撮ったか、忘れてしまうこともあるので、記録する場所やどれくらい時間をかけるかにもよりますが、以下のような部分は書いておくこと対話の際によりよいでしょう。

・「写真を撮りたくなった気持ち」をひと言で

・「写真の前後の流れ」を簡単に

とはいえ、対話を想定して時間をかけて書き込むということではありません。

記録したことを対話し、対話の中で同僚からもらった質問や視点、感想などを、メモしておくのもよいですね。



**Q.** 記録する際、幼児期の終わり、すなわち小学校入学までに育んでほしい姿や能力のめやすを示した「10の姿」とのつながりを、どのように意識していけばよいでしょうか。

**A.** 意識したいことが3つあります。

### 1)定期的に振り返ること

毎日の記録で振り返る必要はないですが、数週間単位で定期的に「10の姿」や、園で育てたいことも像と照らし、実際の子どもの姿がどうかを確認し、子どもの経験の幅を広げながら育てているかを振り返ることが大切です。

### 2)振り返る際、10の視点をかみ砕いた視点で振り返ること

「10の視点」そのものは大切だと周知されていますが、振り返る際は、

もう1段階かみ砕いた視点で捉えていくことが大切です。

たとえば『健康な心と体』という項目を考えてみましょう。

保育所保育指針には『健康な心と体』について「保育所の生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健康で安全な生活をつくり出すようになる」と書かれています。

単に運動をすればよいなど「健康」領域でのみ育まれるのではなく、保育活動全体で「充実感」「自分のやりたいこと」「見通し」「自ら作り出す」などを育みましようとしているところが重要なポイントです。



具体的には、例えば体操を例に出すと、先生の言うとおりに子どもたちが走り回っていたとします。身体を動かしたので単純に『健康な心と体』に当てはまるかという、そうではありません。

先生に言われて走っているだけでは、子ども自ら充実感をもって考えて行動したとは言えませんね。

さらには、体操のシーンだけで『健康な心と体』の育ちがどうなっているのかを見ていくのではなく、普段の活動の中から、運動や協調性(話し合いやルールを守るなど)の面がどう育っているかを複合的に見ていくということが大切なのです。

### 3)バランスよく子どもをみているか振り返る

保育の記録では、つい面白いことをする子や、クリエイティブな子に注目しがちです。

園庭で走り回っている子以外にも、静かに座っている子もいますね。単体の子どもでもとらえるのではなく、その子の行動が他の子にとってどのような経験になっているかなどもみながら、一人ひとりの経験の幅がどうなっているかを、定期的に見ていくことが大切です。

→ 次回9月号では、最後の質問にお答えいただきます。ご期待ください。

こんなギモンに  
お答えします

**Q.**

現場の保育者が「ドキュメンテーション」で記録して、子どもの姿を対話を通じて理解を深めていくとき、園長などの管理職が「やってはいけないこと」は？

## 保育者からの贈り物 Vol.11

娘がもうすぐ1歳になります。我が家の長男も兄になってもうすぐ1歳になります。思い返せば、妻が娘と一緒に退院してきたその日から、長男の赤ちゃん返りが始まりました。何をしてもいじけて泣く。朝は保育園に行きたくないと言い、帰りは家に帰りたくない泣きながら怒っていました。また、以前はとっても楽しく遊んでいた水遊びも『冷たいから水遊びやりたくない』と主張して部屋にいたそうです。お昼寝中も急に起きて泣き出したり、保育士さんには申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、『息子くんが気持ちを出してくれて私達にとって嬉しいことです。丁寧に受け止めていきますね』と担任の先生が話してくれました。

家族以外にもこんなに親身になってくれる人がいるのか！と本当に嬉しかったです。それから徐々に長男の赤ちゃん返りは落ち着いていき、仲良く妹と遊んでくれるようになりました。来年度は兄妹2人お世話になる予定です。先生、どうぞよろしくをお願いします！





今月の  
で実践!ドキュメンテーション

4歳児

# ヤゴのえさ探し

刈谷ゆめの樹保育園 中嶋 淳先生

今日は、ほし組に来た「ヤゴ」のエサ探しをしました。まず、ヤゴは何を食べるのか図鑑で探しました。「水生昆虫や小魚を食べると書いてあるのを見ると、「保育園にはないよ〜」「どうしよう」という声が聞こえてきました。他にないかなとじゅん先生やせこ先生に聞きに行ってみると、「ミミズ」を食べると教えてもらいました。その後、保育園の畑で「ミミズ探し」をしました。残念ながら見つからず、明日もミミズ探しに挑戦してみます。

ミミズ(ヤゴのえさ)を探すために、保育園の畑を探す子どもたち。ただ、見つかるのは、球根や違う虫ばかり。そこで、子どもたちが思いついて仰天のアイデアは、...。「ミミズの家を作る」というもの。そのアイデアを聞いて、担任はやってみようというアイデアの後押し。子どもたちの、ミミズの家作りが始まりました。

ヤゴのえさって何?

ミミズ探し

今日は、ほし組にいるヤゴのエサの、ミミズが保育園に来てくれるようにミミズのお家を作りました。どうしたらミミズが来てくれるかなあと問いかけてみると「お部屋を広くしたらいいんじゃない?」「保育園みたいにキレイにしたらいいんじゃない?」「お部屋をかわいくしたら、いいかなあ!」などとたくさんのアイデアが出てきました。想像力の豊かなほし組さんは、いろいろな意見が出てきて面白いです。

ミミズを探そう

ミミズ以外のえさはあげていたヤゴ。ヤゴは、最後トンボになることなく、亡くなりました。子どもたちは、そのことを知り、ヤゴをもといた池に返そうと。場所が遠かったため、保育者をお願いします。このヤゴのえさ探しを通して、生き物を育てるということ、自分たちで試行錯誤していく楽しさを、子どもたちは感じたようです。

ミミズの家を作ろう

生き物の世話って大変だけど楽しい

水をあげてみよう

なんでミミズは来ないの?



